

エコツーリズム戦略骨子(平成22年度第3回協議会反映版)

項目	記載内容/主な意見
1. はじめに エコツーリズムとは(定義)	○エコツーリズムとは何か? ○知床におけるエコツーリズムとは
2. 戦略策定の目的	○知床だけが持つ自然・くらし・歴史の価値を持続的に、より良く伝えていく、エコツーリズム推進のため、世界遺産地域を管理/享受/利用する様々な立場にとっての共通の将来目標と、それに至るための方法を定める
3. 戦略の背景	○世界遺産委員会からの勧告 ○今後の社会環境の変化(人口動向) ○観光客の動向やニーズの変化 (前提として、「世界遺産価値の維持」、「知床のブランド力の向上」)
4. 現状と予想される課題	○利用やエコツーリズムの現状と経緯 ○現在生じている課題 ○今後予測される課題 時系列的に記載する。
5. 既存の法律と制度の体系	○知床に関する主要な法律と制度 ○観光に関する主要な法律と制度 +地方自治体の関連施策 法律・制度によるゾーニング等 →多くなれば巻末の資料へ
6. 基本方針	(1) 基本原則 3つの原則: 地域経済の発展、自然価値の保護、自然に基づく良質な体験の提供 (2) 戦略の策定と実行にあたって必要な視点 (基本的な考え方: 自然とくらし(地域経済)を守る。民間主導で進める。) ○地域主体/自律的であること ○順応管理型であること ○情報の共有、還元 ○地域の文化・歴史的背景をふまえること ○ブランド価値を高めるという視点を持つこと ○協議体制の構築
7. 戦略の対象	(1) 戦略の対象となる活動 ○自然体験型利用だけでなく、遺産地域に入域する全ての利用(ツーリズム)を対象とする。 (2) 戦略の対象となる地域 ○遺産地域に影響が及ぶ利用すべて(遺産地域外の利用も含む陸域、海域)
8. 守るべき知床の価値	<守るべき価値(=エコツーを通じて伝えていきたい価値)> ○自然、くらし、歴史の価値 ・全体的な価値(海と陸との繋がり、希少動物、流水など) ・地区毎の価値
9. 目標	<3つの基本原則の観点から、具体的な内容を記述。可能な範囲で評価可能な数値目標も採用。> ○遺産地域の自然価値の保護 ○観光客に対する自然に基づく良質な体験の提供 ○地域経済の発展
10. 具体的方策(施策メニュー)	<戦略の実行にあたって採用しうる施策メニューを網羅的に列記。> ○ゾーニングによる地域区分 ○施設整備 ○利用制限 ○守るべきルールの設定(自己責任等) ○知床の利用プランの提案/検証制度 ○広報、ブランド化の推進(認証制度、推奨制度) ○地域と利用者のニーズを反映するしくみ ○ガイドの育成、ガイド同伴義務づけ ○資金(各種交付金の活用等) ○その他
11. 戦略の実行体制	(1) エコツーリズムに関する政策決定手順 ○協議会への提案、協議の仕組みと協議会決定事項の尊重 ○各種法制度、他計画等との調整の仕組み (2) 推進体制/役割分担 ○来訪者、町民、両町、関係団体、北海道、国が担う役割の明示 ○既存の協議会等との関係 ○検討会議の役割(監視の場) ○いますぐ取り組むこと(利用者意向把握など) ○スケジュール
12. 見直しの手法、期間	○戦略の見直しとモニタリング評価の活用 ○世界自然遺産地域管理計画等他計画への反映
参考	○これまでの取組経緯と成果 ○関係地図、各種詳細情報等

この戦略の実行のために知床において、採用しうる施策・事業メニューを網羅的に記載する。ここに記載されていることをもって、必ず、実行するというものではなく、個別課題毎にどのメニューを採用するかは、個別に検討して決定。